

施工手順 (ジスラインSセットアップタイプ、ジスラインS)

1 交通規制

安全第一で十分な作業場所と通路確保をしてください。

2 ケガキと路面清掃



注意 路面が濡れているときの施工は絶対しないでください。

シートの貼り付け位置、向きを決めてください。路面を清掃、作図(ケガキ)します。

注意 ※水分や汚れを十分に取り除く、凹凸部は入念に行ってください。はがれの原因となります。外気温が5℃以下の施工は、原則として避けてください。(気温が5℃であっても路面温度が5℃以下場合がありますので、特に冬場の施工においては路面をあぶる等の処置をしてください。)

3 プライマー塗布と乾燥

重要



プライマーを塗布してください。塗布は、つまり、カスレの無い様にしてください。乾燥は、指で触ってプライマーがつかなくなるまで行ってください。

注意 ※塗布が不均一、乾燥が不十分の場合、はがれの原因となります。

プライマー使用量
0.27L/m²

※ジスラインSプライマー又はエボプライマーCをご使用ください。
※マスキングテープを使用するとプライマーをきれいに塗布することができます。

4 シートの設置(配置)



ケガキに合わせて路面に仮置きし、位置、方向を確認して配置してください。セットアップタイプは一体化されており配置が容易です。

5 シートの加熱(ランクE)

重要



弱火でシートを路面になじませ、その後、強火でムラなく全体を加熱し、完全接着します。

注意 火口を旋回させながらランクEまで十分加熱
※炎の強さ: 1~2秒でシートが路面になじむ程度

シート中央から外側へ空気を抜くようにして加熱します。

注意 ※バーナー距離: 20~40cm

6 冷却、交通開放

自然、もしくは散水により冷却し、指で触れてみてべつつかない程度まで養生して完了です。交通規制を解除してください。夏場においては施工直後、タイヤの跡が付きやすいので施工5分後に水をかける等して、路面温度まで下げてから交通開放してください。

注意 十分な冷却を行わないとタイヤ痕の付着、標示の歪み、ねじれが発生します。



ジスラインSの製品ホームページです。
施工手順を動画でご覧いただけます。

セットアップの場合
はレイアウト作業が
簡単になります。

